

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2008-302930(P2008-302930A)

【公開日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-050

【出願番号】特願2008-232650(P2008-232650)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/44 (2006.01)

B 6 0 R 21/16 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/44

B 6 0 R 21/32

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月16日(2011.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

同乗者着座領域内の同乗者を感知するためのビーカル同乗者検出システムであつて、
同乗者検出システムと、

上記同乗者検出システムに接続されている湿度センサと、を備え、

上記同乗者検出システムは、上記湿度センサに応答し、

上記湿度センサは、座席内のソリッドステート容量性湿度センサと、上記湿度センサと
発振器との間に直列に接続されている2つの抵抗と、上記2つの抵抗の間に接続されてい
るバッファと、を備えていることを特徴とするシステム。

【請求項2】

同乗者着座領域内の同乗者を感知するためのビーカル同乗者検出システムであつて、
回路及び少なくとも1つの電極を有する同乗者検出システムと、

上記回路に接続されている水分センサと、を備え、

上記同乗者検出システムは上記水分センサに応答し、且つ、上記水分センサは前記同乗
者検出システムの上記少なくとも1つの電極及び他の電極とは別に設けられていることを
特徴とするシステム。

【請求項3】

上記同乗者検出システムは、容量性感知システムを有する請求項1又は請求項2記載の
システム。

【請求項4】

上記同乗者検出システムは、エアバッグ制御システムに作動的に接続されている請求項
1又は請求項2に記載のシステム。

【請求項5】

上記水分センサは、座席内の吸収性材料によって接続されている2つの導体を有し、

上記同乗者検出システムは、更に、上記2つの導体間の抵抗を測定する回路を有する請
求項2記載のシステム。

【請求項6】

同乗者着座領域内の同乗者を感知するためのビーカル同乗者検出方法であつて、

(a) 湿度を測定するステップと、
(b) 上記同乗者着座領域内の同乗者の存在を決定するステップと、を有し、
上記ステップ(b)は、上記測定された湿度の関数であり、
上記湿度センサは、座席内のソリッドステート容量性湿度センサと、上記湿度センサと
上記発振器との間に直列に接続されている2つの抵抗と、上記2つの抵抗の間に接続され
ているバッファと、を備えていることを特徴とする方法。

【請求項7】

同乗者着座領域内の同乗者を感知するためのビーカル同乗者検出方法であって、
(a) 水分を測定するステップと、
(b) 上記同乗者着座領域内の同乗者の存在を決定するステップと、を有し、
上記ステップ(b)は、上記測定された水分の関数であり、
この関数は、
(i) 上記ステップ(b)のために上記測定された水分の関数として測定値を変更する、
(i i) 上記ステップ(b)のために上記測定された水分の関数として表を選択する、
(i i i) 上記測定された水分の関数として異常状態を生成する、
の少なくとも1つであることを特徴とする方法。

【請求項8】

上記ステップ(b)は、容量性検知システムを用いて上記存在を決定する請求項6又は
請求項7記載の方法。

【請求項9】

上記ステップ(a)は、
(a 1) 湿度センサへ振動信号を印加するステップと、
(a 2) 上記湿度センサに接続されている電圧を検出するステップと、
を有する請求項6記載の方法。

【請求項10】

更に、(c) 上記ステップ(b)に応答してエアバッグシステムを制御するステップを
有する請求項6又は請求項7記載の方法。

【請求項11】

上記ステップ(a)は、
(a 1) 第1及び第2の振動信号を、それぞれ第1及び第2の周波数で印加するステッ
プと、
(a 2) 上記ステップ(a)に応答する信号の関数として水分レベルを計算するステッ
プと、
を有する請求項7記載の方法。